

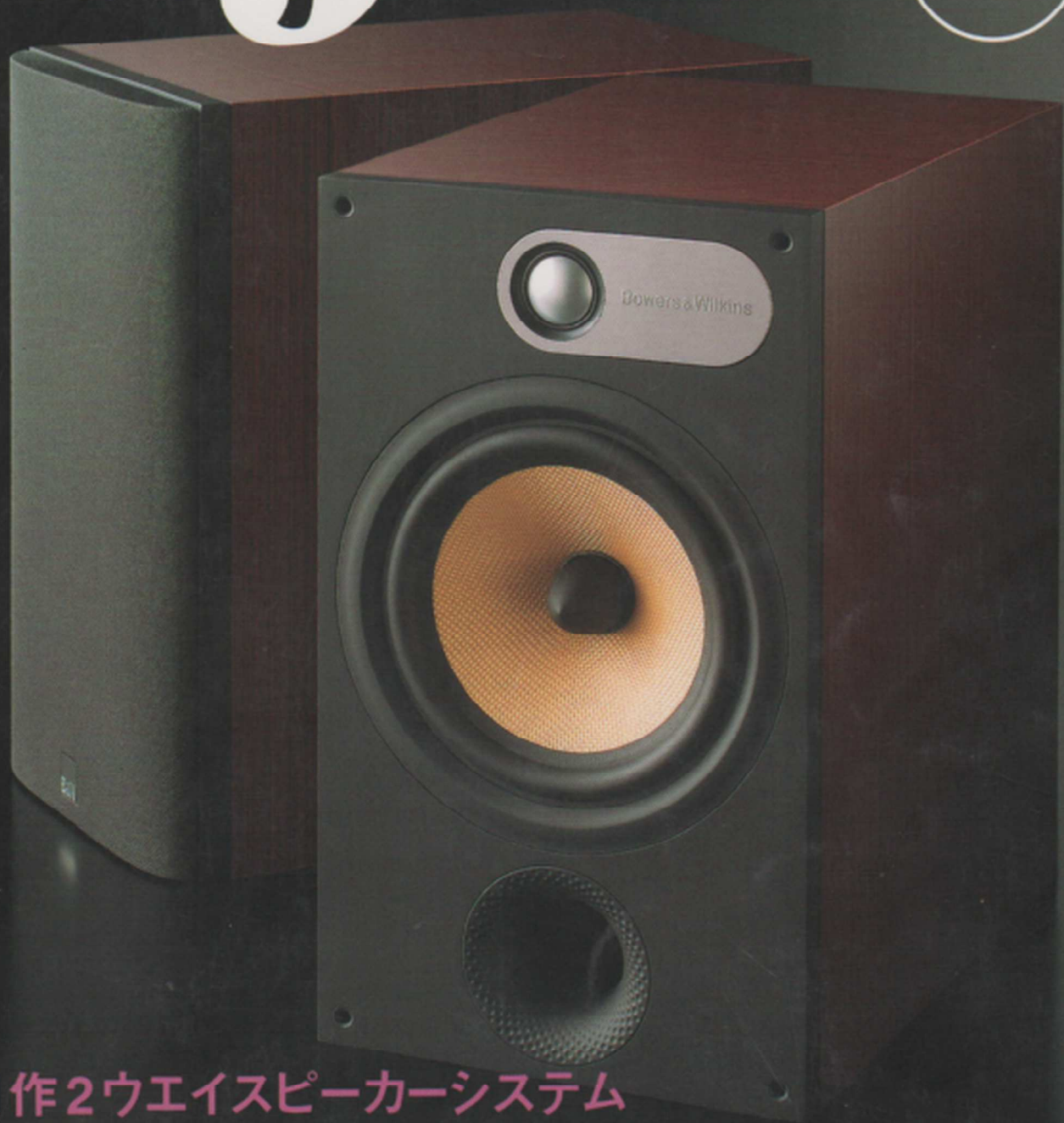
MJ

オーディオ総合月刊誌
無線と実験
AUDIO TECHNOLOGY

2007

10

No.1016



特集

MJ流自作2ウェイスピーカーシステム

日本ビクターSX-WD5KTのチューンアップ
アルパインDLX-Z17W用エンクロージャー
6dBネットワークの研究

MC/CD兼用真空管プリアンプ

26HU5 2パラSEPP OTLパワーアンプ

KT88シングルパワーアンプ

名機の回路を検証する:

6V6GTプッシュプル10Wプリメインアンプ

デジタルオーディオ30年の歩み
クボテックの最新スピーカー情報
スピーカーとリスニングルームの関係

DEQX PDC-2.6P

MJ **zomup**

¥598,000/標準マイク付き

3ウェイチャンネルデバイダー内蔵 デジタル信号処理プリアンプ

音楽を聴くオーディオ再生では、数々の問題に対して構想をたて、トライアルを続けていく。アンプやスピーカーの製作まで手がける愛好家は、本誌を愛読されていることであろう。さて、そんなオーディオライフの経過の中での目標は、リスニングルーム、リスニングポジションで、いかに癖のないバランスの良い音楽を聴けるかではないだろうか。特に、自作スピーカーのネットワークの問題、部屋の音響特性の問題などの追求と解決には時間がかかる。

このDEQXは、デジタルオーディオワークステーションで知られるフェアライトの創設者であるキム・ライリーが2003年に設立した、まだ新しい会社である。

測定結果を分析して最適フィルターを構築

PDC-2.6Pは、スピーカーや部屋の特徴にまつわる問題点を、最新のソフトウェアとともにデジタル処理で解決しようとするプロセッサーである。その機能を紹介すると、スピーカーの周波数特性、位相/群遅延特性の補正、7バンドリアルタイム・パラメトリックイコライザー、最適なスピーカーセットアップのためのルーム測定、ステレオ3ウェイ・デジタルチャン

ネルデバイダー(48~300dB/oct.まで6dB/oct.単位で可変)が主な特徴となる。フィルターの種類は位相特性がリニアなFIR型のほか、リンクウイツライリー型、バターワース型から選ぶことができる。

本機を動作させるのには、OSがWindows 2000またはXPのパソコンと、DEQX Calibration(デジタル・スピーカー補正、デジタル・ルーム補正、コントロールパネル機能)ソフトウェアが必要となる。このソフトウェアはスピーカーや部屋の伝送特性を解析し、中域のみならず高域までも±0.5dBまで修正してしまう。しかも部屋の影響をあまり受けないように、例えば20Hz~30kHzまでで約1秒程度の短いスイープ信号をスピーカーから発生させ、付属のマイクロフォンやオプションの30kHzまで測定可能な高性能マイクにより、聴上1mおよびリスニングポジションでの測定をしてしまう。

そこで得られた伝送特性をフラットにするための逆特性を作り出すデジタルフィルターを演算で構築し、周波数帯域と音圧レベルの補正、ユニット間のタイムアライメント、位相特性の補正まで行ってしまうのだ。これがDEQX Calibratedの過程である。